

## 平成 22 年度 第 4 回常務理事会抄録

日時：平成 23 年 3 月 19 日（土）13：15～17：31

場所：WEB 会議

出席：中村（会長）、山根、岩瀬（副会長）、荻原（事務局長）、大熊、小林（毅）、小林（正）、  
山本（常務理事）、久保田、伊藤、小賀野（部・委員長）

### I 審議事項

#### 1. 東北地方太平洋沖地震への協会対応について

1) 役員選挙の方法・スケジュール等の変更について（伊藤選挙管理委員長）立候補の受付について、郵便事情により遅延する可能性と被災会員の立候補届出が困難なことが予想されるので、その解決策及び投票方法について検討した。解決方法として受付期間の延長、届出困難な方は代替的方法での立候補の届出を可能とする。全体の日程を遅らせ、会長職の決戦投票が必要になった場合のみインターネット投票ではなく総会での直接投票とするなど、選挙管理委員会が調整する。→承認

2) 被災会員の第 45 回学会（埼玉）の参加費免除について（荻原事務局長）学会評議員会から提案された被災会員の学会参加費免除について検討した結果、学会において発表等役割を持っている会員については参加費免除とする。その際、罹災証明書の提示を条件とするが、岩手・宮城・福島在住の会員は証明書も不要。協会の年会費については従来どおり罹災証明書（原則として半壊以上）を提出することにより免除される。→承認

#### 2. その他の審議事項

1) 課題研究助成制度（平成 24 年度募集関連）について（小林（毅）学術部担当理事）助成制度規程について規約委員会で検討し、4 月理事会に上程する。平成 24 年度課題研究助成制度募集要項を作成した。研究成果の公表について検討した結果、従来どおり機関誌作業療法に掲載する。倫理審査を行い承認した者に、倫理審査結果通知書を発行する。研究助成活用を促すために活用を依頼する文書を大学に送る。→承認

2) 平成 23 年度協会表彰・功労表彰候補者について（荻原事務局長）表彰候補者として協会表彰 20 名、功労表彰 29 名が推薦された。→承認

3) 作業療法士総合補償保険制度の一部改定について（荻原事務局長）損害保険料率算

出機構の障害保険料率の改定を受け保険料改定が保険会社より提案された。保険金額は下がるが、保険料は現行のままとする。→承認

4) 会員の入退会について（荻原事務長）死亡により1名退会 →承認

## II 報告事項

### 1. 東北地方太平洋沖地震への協会对応について

#### 1) 初期対応について

①震災対策用ネットワーク 文書報告

②各県・士会の状況報告 文書報告

③その他の初期対応（中村会長）

[1] 養成校に対して臨床実習への影響に関する緊急アンケートを行う。

[2] 被災地からの勤務地変更を希望する会員の要望に応えるために、求人情報等を協会事務局で集約し、協会HPの掲示板に掲載する。

④災害支援関連の財政面での対応（久保田財務部長）平成22年度の対応費用は予備費から支出。初期対応支援金を当該県士会へ30万円ずつ拠出。平成23年度災害支援費用について緊急補正を提案し、理事会で承認いただく。

2) 生活機能対応専門職チームによる災害ボランティア活動について（中村会長）当協会、日本理学療法士協会、日本言語聴覚士協会等の専門職団体でボランティア組織「生活機能対応専門職チーム」を結成する。今後必要な支援の調査等パイロット的な活動を行う。チームを組み廃用性症候群の予防、生活再建等の支援に入る予定。状況により変更もあり得るので、情報をHPに掲載する。

3) 第45回学会（埼玉）での対応について（荻原事務局長）参加者が少ないことが見込まれるが、基本的には実施する方向とする。不測の事態が起きた場合は中止もあり得る。

### 2. その他の報告事項

1) 協会組織の再編（案）について（荻原事務局長）法人移行に伴い、新定款に基づいて協会組織を公益目的の事業に即した5つの部と法人の管理運営を行う事務局に整理統合する。

2) 保健福祉部の活動報告（大熊保健福祉部担当理事）方向性については前回の理事会で承認されている。方向性に基づき要望書としてまとめた。時期を見て対応するために

保健福祉部の行動計画を立案する。作業療法士が参画することによる国民のメリットがわかりにくいので、工夫をしたほうが良い等の意見が出された。

①障害者制度に係る作業療法士の活用（要望骨子）について

②発達障害者への作業療法士の積極的な活用について（要望）について

③特別支援教育における専門職としての作業療法士の積極的な活用について（要望）について

④特別支援教育への作業療法支援プラン案（骨子）について

3) 国試意見書・WFOT 認定審査結果報告書の提出について（HP 参照）

4) 渉外活動報告（各理事） 文書報告

山本理事：心臓リハに関する配置基準、リハ出来高算定については口頭で賛同をいただいた。賛同書をいただくため、各理事会の承認が必要なため、少々滞っている。全体の要望書は日本理学療法士協会、日本言語聴覚士協会と合同で作成する。